



花園大学



同窓会通信



CONTENTS

- 同窓会理事会報告 2
- 大学ニュース 4
- 同窓会ニュース 9
- 「お元気ですか」 10
- 本学関係者 書籍案内 11



花園大学同窓会 理事会報告

2023年5月25日(木)、花園大学同窓会理事会を開催し、2022年度の事業・決算報告と2023年度の事業計画・予算が決定されました。

2022年度 花園大学同窓会事業報告

1. 同窓会関係会議

- 会計監査 5月17日 花園大学 裁松館2F 応接室
- 三役会 5月30日 花園大学 裁松館3F 大会議室
- 理事会 6月14日 花園大学 裁松館3F 大会議室

2. 公開講演会

- 地方公開講演会 なし
- 大学公開講演会 なし

3. 支部総会

- 福岡県支部 6月25日 久留米市 「梅林寺」

4. 在学生対象イベント・支援活動

- 学生食堂支援
 - 「同窓会うどん・そば」代金100円の内、50円を補助
年間利用数 10,348食 (参考：2021年度9,771食)

- 学園祭支援
 - 学園祭応援同窓会プレゼント企画 500,000円

- 卒業祝賀会・同窓会歓迎会 3月17日
 - 卒業祝賀会・同窓会歓迎会 ※中止 代替え用菓子を贈呈
 - 卒業記念品「ロゴ入りキータイマグ」を卒業生393名に贈呈
※前期卒業生7名含む

5. 機関紙の発行・発送

- 花園大学同窓会通信 第105号(9月発行) 15,885通発送
- 花園大学同窓会通信 第106号(3月発行) デジタル版に移行

6. 支部活動助成

- 申請のあった5支部へ交付
信越、三重、兵庫西、福岡、大分

7. 同窓生への慶弔電報

- 弔意9件

8. 学生急減対策支援

- 学内Wi-Fi環境の整備費用 10,000,000円
学内通信ネットワークと学内無線ネットワーク(Wi-Fi)設備の更新によって通信品質の向上と安全性確保のため、学内無線アクセスポイントとL2スイッチの更新(バージョンアップ)に予算を充当させていただきました。

無線アクセスポイント…PCやスマートフォンなどの端末間を無線接続するため、電波の送受信を行う機器

L2スイッチ…データの整理と送受信を効率的に行う機能

※同窓会費については、同窓会から大学側に依頼し、入学時に授業料等の学費に合わせて徴収してきましたが、花園大学内部監査の指摘を受け、法令遵守の観点から2022年度より入学時に同窓会費を徴収することを取り止めると決定しました。

なお、同窓会費の徴収時期は卒業時(同窓会入会時)とし、徴収方法については今後の役員会や理事会で時間をかけて検討いたします。

2022年度花園大学同窓会決算(案)

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(1) 一般会計

収入の部

(単位 円/▲=減)

項	科目	本年度予算額	本年度決算額	差異
1	入会金 ※	0	0	0
2	同窓会費 ※	0	0	0
3	寄付金	100,000	110,000	▲ 10,000
4	雑収入	100,000	24,390	75,610
5	定期からの繰入	10,000,000	10,000,000	0
6	収入 小計	10,200,000	10,134,390	65,610
7	前年度繰越収支差額	26,340,434	26,340,434	0
	収入の部 合計	36,540,434	36,474,824	65,610

支出の部

1	事務費	100,000	100,000	0
2	同窓会通信 制作費等	550,000	515,680	34,320
3	同窓会通信 発送費	2,500,000	1,403,996	1,096,004
4	通信費	20,000	18,076	1,924
5	新入会員歓迎費	3,000,000	1,394,804	1,605,196
6	会議費	30,000	3,432	26,568
7	消耗品費	10,000	0	10,000
8	旅費・交通費	1,000,000	497,095	502,905
9	慶弔費	100,000	32,098	67,902
10	支部活動補助費	1,500,000	369,089	1,130,911
11	広報活動推進費	100,000	0	100,000
12	在学生支援費	11,500,000	11,017,400	482,600
13	名簿管理システム	450,000	445,616	4,384
14	雑費	100,000	65,340	34,660
15	予備費	100,000		100,000
	期末未払金	0	▲ 153,703	153,703
	支出 小計	21,060,000	15,708,923	5,351,077
	次年度繰越金	15,480,434	20,765,901	▲ 5,285,467
	支出の部 合計	36,540,434	36,474,824	65,610

(2) 学生急減対策積立資金

収入の部

1	学生急減対策積立繰入	0	0	0
2	前年度繰越金	47,276,495	47,276,495	0
	収入の部 合計	47,276,495	47,276,495	0

支出の部

1	学生急減対策支援費	10,000,000	10,000,000	0
2	次年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	支出の部 合計	47,276,495	47,276,495	0

新理事紹介

2023年5月25日(木) 花園大学同窓会理事会を開催いたしました。理事総数47名中、23名出席、欠席24名(うち委任状16名)で、過半数に達しており、同窓会会則第13条により、理事会は成立いたしました。

2023年2月より在任の新監事が紹介されました。

監事：塩見 ゆかり 様

なお、支部長交代により、新たに理事にご就任されたみなさまは以下の通りです。

東北支部：畑山 祥山 様 信越支部：石川 良忍 様

北陸支部：加藤 幹人 様 南大阪支部：磯部 宗寛 様

2023年度 花園大学同窓会事業計画

1. 同窓会関係会議

- 会計監査 4月26日 花園大学 裁松館2F 応接室
(西田会計事務所)
- 5月 2日 花園大学 裁松館2F 応接室
(永安監事、塩見監事)
- 三役会 5月10日 花園大学 裁松館3F 大会議室
- 理事会 5月25日 花園大学 裁松館3F 大会議室

2. 支部総会

- 大分県支部 6月14日 別府市 「ホテルニューツルタ」
- 福岡県支部 6月25日 福岡市 「頤和園」
- 三重県支部 11月頃

3. 在学生対象イベント・支援活動

- 学生食堂支援
 - 「同窓会うどん・そば」代金120円の内、70円を補助
- 同窓会新入会員歓迎費
 - 卒業記念品を卒業生全員に贈呈
- 新入生歓迎事業支援
 - 新入生のオリエンテーション費用の補助

4. 機関紙の発行

- 花園大学同窓会通信 第107号 (9月発行予定)
- 花園大学同窓会通信 第108号 (3月発行予定)

5. 支部活動助成

6. 同窓生への慶弔電報

7. 硬式野球部応援援助費

令和5(2023)年度京滋大学野球春季リーグ戦において、大学の硬式野球部が13季(7年)ぶり2度目のリーグ優勝を果たしました。

これにより、6月5日より開催される全日本大学野球選手権大会への出場権を獲得しました。この大会は高校野球で言えば甲子園に相当する全国大会であり、明治神宮野球場・東京ドームで開催されます。その大会に向け頑張っている選手たちを、同窓会からも応援したいと考えております。

8. その他

2023年度花園大学同窓会予算(案)

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(1) 一般会計

収入の部

(単位 円/▲=減)

項	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異
1	入会金	0	0	0
2	同窓会費	0	0	0
3	寄付金	0	100,000	▲100,000
4	雑収入	25,000	100,000	▲75,000
5	定期からの繰入	0	10,000,000	▲10,000,000
6	収入小計	25,000	10,200,000	▲10,175,000
7	前年度繰越収支差額	20,765,901	26,340,434	▲5,574,533
	収入の部 合計	20,790,901	36,540,434	▲15,749,533

支出の部

1	事務費	100,000	100,000	0
2	同窓会通信 制作費等	200,000	550,000	▲350,000
3	同窓会通信 発送費	10,000	2,500,000	▲2,490,000
4	通信費	20,000	20,000	0
5	新入会員歓迎費	1,500,000	3,000,000	▲1,500,000
6	会議費	10,000	30,000	▲20,000
7	消耗品費	10,000	10,000	0
8	旅費・交通費	400,000	1,000,000	▲600,000
9	慶弔費	100,000	100,000	0
10	支部活動補助費	1,000,000	1,500,000	▲500,000
11	広報活動推進費	50,000	100,000	▲50,000
12	在学生支援費	2,200,000	11,500,000	▲9,300,000
13	新入生歓迎事業支援費	1,200,000	0	1,200,000
14	名簿管理システム	400,000	450,000	▲50,000
15	雑費	100,000	100,000	0
16	予備費	100,000	100,000	0
17	硬式野球部応援援助費	1,000,000	0	1,000,000
	前期末未払金	▲153,703	0	▲153,703
	支出小計	8,246,297	21,060,000	▲12,813,703
	次年度繰越金	12,544,604	15,480,434	▲2,935,830
	支出の部 合計	20,790,901	36,540,434	▲15,749,533

(2) 学生急減対策積立資金

収入の部

1	学生急減対策積立繰入	0	0	0
2	前年度繰越金	37,276,495	47,276,495	▲10,000,000
	収入の部 合計	37,276,495	47,276,495	▲10,000,000

支出の部

1	学生急減対策支援費	0	10,000,000	▲10,000,000
2	次年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	支出の部 合計	37,276,495	47,276,495	▲10,000,000

学長ご挨拶

学長 磯田 文雄

日頃、花園大学の教育研究の充実発展のためにご支援いただき
ておりますことを厚くお礼申し上げます。

はじめに、硬式野球部は2023年度京滋大学野球春季リーグ
戦において13季（7年）ぶり2回目の優勝を果たし、全日本大学野
球選手権大会に出場しました。残念ながら、全国大会では、6月
7日（水）東京ドームにて大阪商業大学に1対7のスコアで敗れま
した。わざわざ東京ドームに足を運んで応援してくださった皆
様、ご寄付いただきました皆様、またご自宅などから陰ながら応援
くださったすべての皆様に御礼申し上げます。

また、準硬式野球部は、6月24日、清瀬杯全日本大学選抜大会の
関西地区代表最後の枠である第3代表決定戦が行われ、本学が
サヨナラ勝ちで勝利し、見事出場権を獲得しました。清瀬杯
は、9月1日～5日の間、石川県内の球場を会場に熱戦が繰り広げられます。

次に、花園大学学業特待生奨学金の大幅拡充についてです。2023年度の入学
者選抜では、一般選抜において新たに学業特待生奨学金制度を導入
しました。各学科成績上位者に対し、入学金、授業料、教育充実費を
最大4年間全額免除します。この4月には36名の学生が本制度で入
学しました。

2024年度入試におきましては、この制度をさらに拡充し、学校推薦
型選抜（指定校入試）においては全学部上位10位以内、自己推薦
入試においては各学部上位10位以内を新たに支援の対象にします。
一般選抜A日程、B日程においては昨年同様、各学科上位10位以
内が支援の対象です。一般選抜C日程、大学入学共通テスト利用
入試においては各学部上位5名が支援の対象です。

いずれの入試においても合格通知とともに採用決定がなされること
から高校生が見通しをもって進路選択できること、最大4年間授業
料等が全額免除となることから安心して学業に励むことができること、
この二つが本制度の特色です。

さらに、文学部仏教学科女子枠を創設しました。大学においては知の
創造をもたらすものは多様性（ダイバーシティ）です。性、人種、
言語等の多様性を豊かにしていくことが求められます。しかしなが
ら、本学の文学部仏教学科においては、2023年入学者に占める女
子の比率は0%です。このような女子の比率はすみやかに改善する
必要があります。このため、2024年度入学選抜において文学部仏
教学科に女子枠を創設しました。仏教学科合格者（女子）の成績
上位10位以内の者を対象に、入学金、授業料、教育充実費を最大
4年間全額免除します。

女子枠の創設によりより多くの女子学生が仏教学科の教育研究
に参加し、その活動が豊かになり知の創造に結びついていくこと
を期待します。女子学生の参加により仏教学はどのようなものにな
るのでしょうか。また、仏教と人々の日常生活との関係を女子学
生の視点で再構成するとどのような世界が開けるのでしょうか。男
性の視点には欠けていたものが次々と明らかになることを期待し
ています。



硬式野球部全国大会出場

監督挨拶

日頃より花園大学硬式野球部活動に対しましてご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。
今回の第72回全日本大学野球選手権大会出場におきましては、多大なご支援を頂戴しましたことに感謝申し上げます。

私は本年3月1日より花園大学に勤務し、硬式野球部監督に就任いたしました川崎克巳でございます。本学就任前は大阪府立高校教諭として39年間勤務し、島上大冠（現大冠）、門真西、高槻北高校で硬式野球部の監督を務めて参りました。

今回、就任3カ月で全国大会出場を勝ち取る事が出来たのは、3月に行った春季キャンプが大きかったと思っております。8泊9日寝食を共にすることで選手一人ひとりの個性や考え方を知ることが出来ました。就任後間もない時期でしたので、選手は私の野球指導について疑心暗鬼な部分もあったのではないのでしょうか。私は高校と大学で指導方針に大きな違いはないと考えております。大切なことは「凡事徹底」。何でもないことを徹底してやりぬくことで大きなことが成しえる。これは硬式野球のみならず選手の勉強や学生生活全てに当てはまると考えております。この考えを伝え、実践することでキャンプ後はチームがまとまり、春季リーグ戦では前半のピンチを守り抜き、終盤に得点する試合が続きました。全国大会一勝を成しえることは出来ませんでした。この経験が今後に大きく生きてくるものと信じております。この方針を軸に指導に当たって参ります。皆様の更なるご声援をよろしくお願い申し上げます。

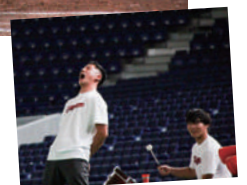


監督 川崎 克巳

第72回全日本大学野球選手権大会の結果

京滋大学野球連盟代表の本学選手団は、6月4日の開会式にあわせて上京し、その後は都内で練習を重ねました。6月7日関西六大学代表の大阪商業大学と東京ドームで対戦しました。投手は奥田（4回生八幡商業高）-藤原（2回生水口高）-小林（2回生栗東高）と継投しました。1回に1点を先制され、その後5回、6回に失点しました。打線は7回に櫻田（3回生尽誠学園高）、岩田（4回生東山高）と連続ヒットで出塁し、植西（2回生京都国際高）の犠牲フライで1点を返しましたが7対1で敗れました。力の差を感じる残念な試合結果となりました。プロ野球が使用する東京ドームの独特な雰囲気の中で、少し気持ちが舞い上がり、いつもの試合運びが出来なかったと感じています。

一方で収穫もありました。応援の硬式野球部員は、花園大学を応援してくれる250名以上の応援団の先頭に立ち「エール交換、大学歌合唱など」声を張り上げ力いっぱい応援しました。用意した応援グッズが不足し、球場に足を運ぶ以外にもたくさんの方が応援してくださる熱い気持ちは、全国大会でプレーする選手の大きな支えとなりました。



今後の展望・目標など

全国大会を終え、3回生を中心にした新チームとなりました。川崎監督をはじめ奥本助監督や境田副部长、矢野コーチの指導の下、関西オールスター五リーグ対抗試合や新人戦、京滋大学野球連盟秋季リーグ戦に向けて練習をしています。

全国大会に出場したことで、もっと上の世界があることを肌で感じる事が出来ました。以前は「この練習が何につながるのだろうか？他大学はちゃんとした設備があるのに…」などと思うこともありましたが、口だけの目標ではなく、チーム一丸となって「全国大会での勝利」という目標が定まったと感じています。まだまだ未熟ではありますが、今後も練習はもちろん単位も取得し（笑）努力を続けていきますので、皆様の熱いご声援をよろしくお願いいたします。

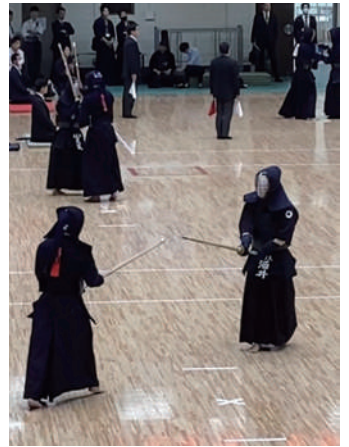
剣道部全国大会出場

本学剣道部の酒井良輔さん（日本史学科4回生）が、2023年7月2日に日本武道館にて開催の「第71回全日本学生剣道選手権大会」に出場しました。この大会は「第71回関西学生剣道選手権大会」でベスト30までに入ると出場することができます。

結果は惜しくも初戦敗退でしたが、全日本への出場は後輩たちにも大きな希望を与えることができました。今回の貴重な経験を糧に、剣道部のますますの成長と活躍を期待したいと思います。



花園大学 日本史学科4回生
酒井良輔さん



2022年度 学位授与式

2022年度の学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため卒業生と教職員のみでの式典として3月17日に挙行了しました。ただし、保護者と在学生への学内入構は可として学内の別会場でライブ配信を行いました。学部生380名、大学院生6名が学位を授与され本学を卒業・修了しました。

磯田文雄学長は式辞の中で、学問をするため、そして、社会で活動するため、皆さんにお願いしたいことがあります。それは「書くこと」を一生涯学び続けていただきたいということです。短い時間で簡潔に説明できる人がいますが、その人はしっかり書くことができます。書くことは人間の活動の基本です。是非、書くことを学び続けてくださいと述べられました。

卒業生・修了生を代表して文学部日本史学科の奥村亮太さんが「コロナ禍で制限が多い大学生活でありましたが、何事にもチャレンジという自身の目標通り、充実した日々を過ごせました。これからも自分の軸をしっかり持ち、花園大学での学びを胸に自分らしく歩いていきたい。」と謝辞を述べられました。



2023年度 入学式

2023年度の入学式は保護者の方も式典会場に入場できるようにして4月5日に挙行了しました。学部生332名、大学院生8名、総勢340名の新生は列席の教職員に大きな拍手で迎えられました。

磯田文雄学長は式辞の中で花園大学は国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の基本的哲学である「誰一人取り残さない—Leave no one behind—」を基本に、学生一人ひとりを大切に丁寧な教育に取り組み、多様性を一つの大学という組織の中に包摂した活動を展開します。

次に、大学生活を始めるにあたって、ぜひ心にとどめておいていただきたいことを申し上げます。まず、「初心忘るべからず」です。第二に、困ったことがあり思い悩むときは、周囲の人と対話を重ねてください。

第三に、「分かち合い」を大切にしてください。と述べられました。

その後、新生を代表して日本文学科の橘木暖人さんが宣誓を読み上げて花園大学での新生活をスタートさせました。



「本山早朝参拝」 「花まつり」

5月25日の創立記念日には、本学の建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」における最も重要な行事のひとつとして、本山早朝参拝を実施しました。

午前9時、厳粛な雰囲気の中約50名の学生・教職員は、妙心寺・玉鳳院および開山堂にて、栗原正雄学園長導師のもと諷経参拝を行ない、開基花園法皇、開山無相大師の遺徳を偲び、今こうしてそれぞれがあることへの感謝の気持ちを新たにしました。

また、同日の昼休みの時間帯には「花まつり」を開催しました。会場となりました栽松館1階エントランスホールには、約50名の学生・教職員が参加しました。導師は横田南嶺総長が務められました。学生による献灯・献花を行い、その後、般若心経が唱えられ釈尊のお誕生と、勉学向上祈願の回向を奉呈しました。最後に参加者が順次焼香をし、花御堂の釈迦誕生仏甘茶をかけ、厳粛な式典となりました。



佐々木閑特別教授就任記念対談

花園大学ではこの度、佐々木閑仏教学科教授に特別教授*の称号を付与しました。

*特別教授とは、専門分野で特に優れた業績を挙げ、国内外で極めて評価の高い研究を現に行なっている教授・特任教授に付与する称号です。

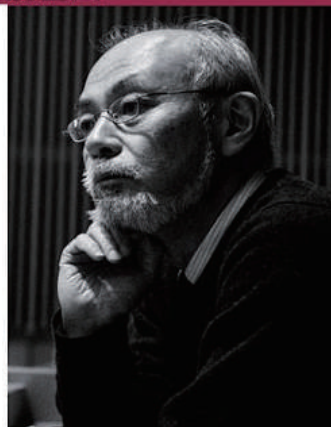
第1号となる佐々木特別教授の就任を記念し、横田南嶺花園大学総長との記念対談を企画し、花園大学創立記念日に実施しました。

第151回花園大学創立記念特別企画



横田 南嶺 (よこた なんれい)
花園大学総長・臨済宗円覚寺派管長

就任記念対談 佐々木 閑 特別教授



佐々木 閑 (ささき しずか)
花園大学文学部仏教学科特別教授

動画は以下のQRコードから
ご視聴いただけます。



進路サポート課

自分で考えて行動し、納得できる進路選択をする！

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、経済が活発化していく中で、企業・団体の採用意欲は一段と高まり、求人数も大きく増加している状況です。

4回生については、進捗状況や活動内容が一人ひとり異なるため、個別対応が大変重要となります。今年度も、ゼミ担当の先生方の協力を得て、気軽に窓口に来てもらう工夫として名刺サイズの「案内カード」を配布しました。同時に、オンラインにて進路状況調査を行い、その結果を元に、個別に電話をかけて状況を丁寧に聴き出し、学生一人ひとりの状況に応じたサポートにつなげています。また、本学への採用意欲が高く、大学まで足を運んでくださる企業・団体の数も昨年に比べて増加しており、学生の希望状況に応じて、個別に求人情報提供につとめています。さらに、状況調査の中で特に不安と感じる回答が多かった「履歴書の書き方」「面接対策」の講座をバックアップセミナーとして開催しました。

3回生には、6月に第1回就職ガイダンスを実施しました。進路サポート課の支援内容について、これからの就職活動の流れや花園大学進路サポートシステム「花☆サポ」※の登録と活用の仕方などを説明しました。その他、インターンシップ参加の促進、就活サポートイベントとして、「就活スタートセミナー」「仕事研究セミナー」を開催し、就職活動本番への準備につなげています。

1・2回生にも、必修の基礎教育科目「学びのナビゲーション」を通して、進路サポート課の説明や「花☆サポ」の初期登録・進路についての動画視聴を案内し、活用してもらうことによって、低回生のうちから進路サポート課に親しんでもらう工夫をしています。

※「花☆サポ」：スマートフォンやパソコンから、求人やインターンシップの検索、個別相談・支援講座参加の予約、各マナーシートのダウンロード、就活準備動画閲覧など、就職活動に必須のシステムです。

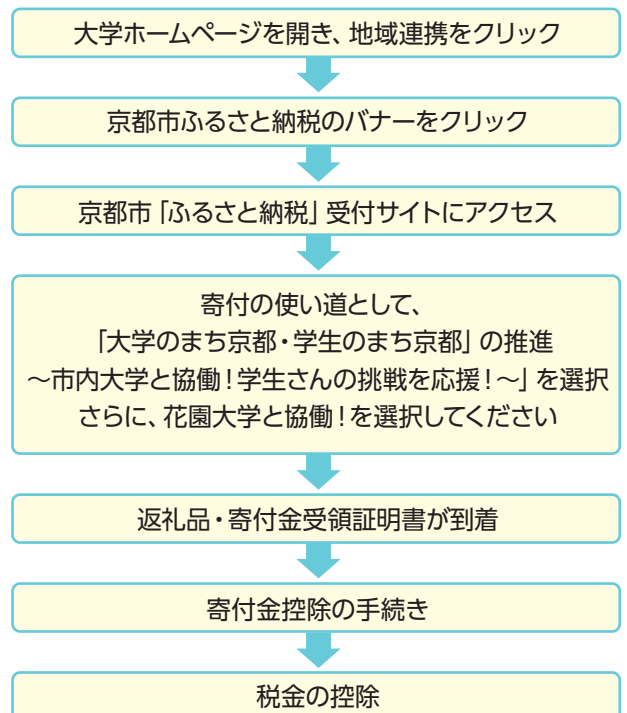


「進路サポート課」案内カード
※10種類の中から選べるように工夫しています。

地域連携教育センター

京都市ふるさと納税を活用し、花園大学へご支援をお願いします。

2023年4月から、京都市へふるさと納税をしていただくと、翌年度に寄付金額の一部が花園大学へ配分されることになりました。配分された助成金は、本学の地域連携等推進事業に活用させていただきます。花園大学へのご支援をよろしくお願いいたします。



※京都市民の方は返礼品の送付はありません。

同窓会ニュース

福岡県支部総会

令和5年6月25日(日)福岡市博多駅「頤和園」にて令和4年度の支部総会を開催しました。会員20名の参加者と大学より山本清文学部長、坂ノ下祐大総務課主任のご臨席を賜りました。桑野勝巳副会長の司会により池上寛道支部長のご挨拶を頂き、貝野孔隆氏を議長に選出し議事が滞りなく終了しました。総会后、大学より近況報告がありました。親睦会は、^{しまはせ}今長谷清明副会長の進行により聖福寺細川白峰老大師のご挨拶、梅林寺東海大玄老大師の乾杯のご発声で親睦会が始まり、花大が妙心寺横にあった時の参加者と円町に移転した後の参加者に分かれて行いました。在家の参加は、4名でした。当時の大学の様子がよみがえり懐かしい時を和やかな雰囲気の中で過ごすことができました。来年の再開を祈念して閉会いたしました。



事務局 山崎 公明

花園大学同窓会大分県支部総会開催について

さる令和5年6月14日大分の別府にあるホテルニューツルタにおいて令和5年度花園大学同窓会総会を行わせて頂きました。コロナ蔓延の為過去2年中止をしており、2年ぶりの開催をさせて頂きました。大学より事務局長の山崎正人氏、事務局の坂ノ下祐大氏に来県出席頂き、県支部員には20名が総会に出席、夜の交流会は14人で催させて頂きました。また支部役員を交代して初めての総会になった為、始めに新支部長の所信表明の挨拶から始まり、人事異動報告、会計報告、事業報告、次年度の予算案、事業計画提案という順番で会は進行いたしました。会の結果、本年度の公開講演会はまだコロナが終息されていない為見送る事と、昨今の問題点として、在家の会員からの会費徴収の難しさ、総会にどうしても在家会員が出席して頂けるか、先輩方の遷化・訃報が起こった時の伝達の遅さなど問題定義がなされ、それらに対する打開案、解決案などを話し合いました。最後に大学事務局の方々と大学の現状と生徒数の変化、学部の増設などの報告を聞かせて頂きました。夜の交流会の食事では普段会わない遠方の先輩方や大学事務局の方たちと楽しく交流を深めさせて頂き、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

副支部長 東 大道



お元気ですか



兵庫西支部同窓会 総会・懇親会の御案内

コロナ禍により、ここ数年中止となっておりました兵庫西支部同窓会総会を開催いたします。

久々の総会ですので会員の皆様の多数参加をお待ちしております。総会・懇親会（懇親会は実費必要）参加希望者は右記の所まで御連絡下さい。

（総会のみ参加又は懇親会のみ参加でも可）

日時：2023年12月4日（月）

午後3時より総会 総会終了後懇親会の予定です。

場所：兵庫県丹波篠山市矢代231-1

ユニットピアささやま TEL 079-552-5222

連絡先：兵庫西支部長 田中金作

TEL 078-942-2854 (有)錦内

Email nisiki@nike.eonet.ne.jp

※会場の都合により参加希望者は11月上旬までにご連絡ください。

竹貫元勝先生を偲ぶ会

2021年5月にご逝去された故竹貫元勝先生（花園大学名誉教授）を偲ぶ会を、下記の日程にて開催いたしますので、案内申し上げます。 「竹貫元勝先生を偲ぶ会」有志一同

日時：令和5年（2023年）10月28日（土） 14時より（13時開場・受付）

場所：花園大学 教堂（京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1）

※学内に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

会費：2,000円

内容：式典は約1時間を予定しています。

式典終了後に妙心寺へ墓参、花園会館にて先生を偲ぶ宴の場を設けたいと存じます。

宴会費については、別途現地にて徴収させていただきます。（3,000円程度になる見込みです。）

当日は平服にてご参集賜りますようお願いいたします。

【お願い】 竹貫先生のお写真をご提供いただける方は、shinobukai2023@gmail.com までデータ送信をお願いします。

ご参加について：お手数ですが、下記 URL もしくは QR コードより、参加登録をお願いいたします。

準備の都合上、10月10日（火）17:00までにご回答ください。

<https://forms.gle/3eLi6jn1wwSjdcxcA>



※上記フォームでの参加登録が難しい場合は、shinobukai2023@gmail.comへ直接メールをお願いします。

硬式庭球部 創立45周年に向けて

硬式庭球部OB・OGのみなさま、いつもご支援いただきありがとうございます。

2020年に40周年という大きな節目を迎えたにも関わらず、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、やむなく中止せざるを得ない状況となりました。

再来年2025年の45周年には、盛大に祝賀会を開催できるよう少しずつ準備を進めておりますが、ご卒業後、住所変更等で十分に情報をお届けできていない先輩方が多くいらっしゃいます。お手数ですが、同期同士等で連絡を取り合ってください、情報共有をお願いいたします。変更がございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください。

※花園大学硬式庭球部OB・OG会メールアドレス：hanazonotennis1980@gmail.com

【ご案内】 硬式庭球部では、OB・OGのみなさまと現役学生の交流をはかるべく、合同練習会を開催しております。

日程は、インスタグラムにて公開しておりますので、どうぞご参加ください。お待ちしております。

花園大学体育会硬式庭球部インスタグラムはこちらからどうぞ。

現役学生の様子も発信しています。



花園大学 手話サークル「すみれ」第1回同窓会のお知らせ

1974年5月に初めての聴覚障害学生を中心に創設され、15年間活動して、1989年3月に解散しました。

主に昼休みに活動していたことや出入り自由でしたので正確なメンバー把握ができていませんが、口コミで拡散していただければうれしいです。

懐かしいお顔を拝見するとともに、情報交換の場へ発展していけたらと思います。

2023年9月吉日 呼びかけ人代表 大江卓司 (1976年 社会福祉学科入学)

開催日：2023年10月21日(土)

10時30分 花園大学正門前集合 大学見学

太子道馬代上がり左側、大学学園祭 (10/21-22) で看板設置あり。

13時 同窓会懇親会 受付開始：12時30分 13時開宴 会費：8,000円

会場：和食・懐石がんこ高瀬川二条苑

〒604-0922 京都市中京区木屋町通二条下ル東生州町484-6

16時頃～ 二次会 (希望者 申込時にお知らせください)

申込締切 10月10日

「すみれ」同窓会LINEグループに自己申告でご参加していただければ幸いです。

第三代運営委員長宛 <https://line.me/R/ti/g/smu64Y0ZHx>



お便り

「迷わず決心」 谷口 博さん

私が花園大学大学院社会福祉学研究科に志願したのは、中年 (46歳) になってからでした。23年間勤務した福祉施設で、私は様々な意味で救済された在宅障がいの児童に、今、一分一秒を懸命に生きる姿が、何とも表現しがたい教訓を得たからでした。

私の小中学生時代は、不登校児でした。そんな私の不登校を解消してくれ、社会福祉の道へと導いてくれたK君。私は迷わず決心しました。福祉の道へ。

K君に対して万分の一でも恩返しをしたい。

しかし、私の信念は見失われようとしていました。福祉の仕事をして、時は流れようとしていました。目が覚めた時は40代。初志貫徹のための決心。

70代に入り、今は投書の旅をしています。花大のますますの発展を願いつつ。

本学関係者 書籍案内

転換期の長崎と寛政改革

著者：鈴木康子 (文学部教授)

国内の鉱物資源の枯渇と流出が深刻化した十八世紀以降、対外貿易を担う長崎は国内経済と幕府財政にも密接に結び付いた。

正徳新例がその支配体制を明確に規定し、続く寛政改革は実質的に幕末に至るまでの江戸幕府の対外政策の基本となった改革である。本書では一七七〇年代から一八一〇年代における、長崎奉行戸田出雲守氏孟の貿易改革から松平定信による寛政改革に至るまでの、改革を実行する人々の動きと国内外の歴史的な背景について明らかにする。



マイノリティの星になりたい —在日コリアン教師〈本音と本気〉の奮闘記

著者：李大佑 (2003年社会福祉学部社会福祉学科卒業)

在日コリアン3世として京都に生まれ育った著者は、家族に見守られ、仲間と先生に支えられ、ラグビーに打ち込むなかで将来をひらいていく。お決まりの偏見・差別にさらされながらも、常にポジティブに、でも時に葛藤し、自分を見つめるなかで擱んだ教師への夢。自らの半生と、少数者という視点から培った教育への思いを、ユーモアと情熱をこめて綴るエッセイ。



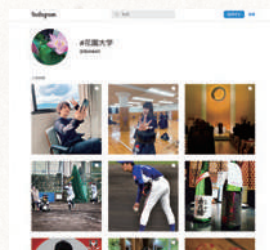
ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムでも大学の情報を発信しております。



花園大学同窓会
ホームページ



花園大学
公式ホームページ



花園大学 同窓会通信 107号 2023.9 発行

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1

同窓会事務局

電話 (075) 279-3630 (直)

F A X (075) 823-2412 (直)

E-mail dousou-h@hanazono.ac.jp